



↑受賞した平藪さん（写真左）と大迫さん

みんなでつくろう安心の町 町内2人が防犯協会から表彰

町内に住む平藪武志さん（田尻集落）と大迫政喜さん（犬鹿倉集落）が、公益財団法人鹿児島県防犯協会と鹿児島県警察から表彰されました。

両氏は、阿久根地区防犯協会に地域安全モニター制度が発足した平成7年度から現在まで、19年間にわたり阿久根地区地域安全モニター副総代を務めました。季節の地域安全運動や日頃の防犯活動などに積極的に取り組んでいることなどが讃えられ、10月8日、鹿児島市で表彰式がありました。

平藪さんは、長年少年補導員としても活動されており、6月の少年補導荣誉銅賞に続く受賞となりました。

表彰状を受け取った2人は「荣誉ある賞をいただき光栄。活動は決して1人ではできない。地域住民の人たちの協力のおかげ」と声をそろえて喜びました。

獅子島架橋実現を目指して 甑島の架橋建設現場を視察

獅子島架橋早期実現を目指す獅子島架橋建設促進期成会（川添健会長）は10月8日、薩摩川内市の甑島を研修視察しました。

甑島では現在、下甑島と中甑島とを結ぶ、蘭牟田瀬戸架橋建設工事が行われており、期成会員らが実際に工事の様子を見学しました。

研修を終えて会員らは「獅子島架橋早期実現のためには、今後も継続した活動が必要」と気を引き締めました。



↑工事内容などの説明を聞く期成会会員ら



↑助成事業を活用して購入された太鼓

宝くじ助成事業を活用 獅子島地区に和太鼓を購入

町では、コミュニティ助成事業を活用し、獅子島地区に桶胴太鼓や長胴太鼓、附締太鼓などを購入しました。

この事業は、町内唯一の有人離島である同地区で、平成25年4月の小学校統合により関心が高まっている太鼓の演奏活動の整備を充実させることで、地域との交流、年齢を問わない活動を行い世代間交流を図ることを目的としています。

今後、購入した太鼓は、獅子島地区の行事やイベントなどで活用される予定です。